

【目的】

「徳地アドベンチャー教育プログラム」(以下、TAP)のハイエレメントに係る指導の見学及び実践を計画的に受講することで、TAPの指導の幅を広げるとともに、利用者の様々な要望に対応できるようになる。また、ハイエレメントの指導が可能になる事で、より多くの団体へ指導する機会をもつ事ができるようになる。

【参加者】2名(男2名)

【プログラムの内容】

1日目

- 9:00 開講式、オリエンテーション
- 9:30 セッション①「ケーススタディ」
- 14:00 セッション②「ハイエレメントの研修」
- 18:30 セッション③「OJTに向けての説明」

2日目

- 9:00 セッション④「ロールプレイング」
- 12:00 閉講式

セッション①



ハイエレメントを実施する上でのケーススタディを行い、様々な状況に対応するための知識や事故事例について学んだ。

セッション③



講習会修了後、実際にハイエレメントの指導を担当するまでの流れやOJTに向けて説明を受けた。

セッション②



ハイエレメントで使用する器具の名前と使用方法、ロープの結び方やセットアップの仕方について学んだ。その後、実際にハイエレメントにチャレンジしながら、指導する際の視点や留意事項について学んだ。

セッション④



ハイエレメントのセットアップ、参加者への説明、チャレンジのファシリテート、撤収までの一連の指導を、職員を参加者に見立て実践した。その後、職員からのフィードバックを受け、ハイエレメント指導の実践に向けて、特に安全管理の方法について理解を深めた。

【参加者の声】

- ・これまで、ハイエレメントを見ていた時は、参加者同士の関わりの部分を見ていました。しかし、今回の講習会では、自分が指導していく意識のもとで参加していたこともあり、見る視点が違っていました。ビレイのストッパーを見ていたり、参加者が行ったエラーについて気を配ったり、何よりも安全面について守る必要があると気づかされました。
- ・自分だけでは出てこない視点、誰かの視点から「はっ」とさせられることが多く学びになりました。実際の指導をしてみて、ミスやエラーを見落としているのではないかと気が付けられました。ハイエレメントのブラッシュアップ会のようなものを再受講したいです。

【成果と課題】

本事業は今年度新しく始めた取り組みであり、外部指導員のハイエレメントの指導スキルの向上を図ることができた。また、職員を含めて参加者各々の指導経験から得られた情報を共有することで、TAPの指導の幅を広げる機会となった。ハイエレメントを安全に運用するための知識と技術を身に付けた指導員の確保は、継続的に行っていく必要がある。